

簡易郵便局を訪ねて 117

干し芋販売が好評、お客さまとの関係を築いていく

野間簡易郵便局（福岡県岡垣町）



局長
赤司 隆太

地域で頑張っている簡易郵便局を紹介します。



岡垣町は人口約三万人の町です。山と海があり、のどかな田園風景が広がっています。巨峰やびわなどの果物が特産品ですが、特にびわは産地としての歴史があり、びわ茶やびわ酒が商品化されています。



水平線に沈む北斗七星の様子

また、岡垣町の海岸には、「北斗の水くみ」という現象をみることもできる、世界でも数少ない観望ポイントがあります。「北斗の水くみ」とは、北斗七星が水平線に沈んでいく姿が、ひしゃくがあたかも水をくんでいるように見えることで、九月から十一月が見ごろとなります。

その岡垣町にある当局は一九七六年、祖母が五十二歳の時に開局しました。

小さな商店を営んでいた当時、岡垣町役場の近くであったこの場所に、郵便局があったらいいという地域の方の声を聞いて簡易郵便局を始めたと聞いています。

その後、母が受託者を引き継ぎました。その母も高齢となり、続けていくかを迷っている時、私が

母に受託者を代わろうか？と軽く言ったところ、それがだんだんと現実的になっていきました。そして二〇二〇年に私が引き継ぐこととなりました。

私が受託者になってから、知人が作っている干し芋を販売するようにしました。さつまいもは収穫し寝かして熟成させるので、販売開始は、毎年十二月中旬になり、四月～五月頃には芋がなくなり販売終了となります。とても好評で、最近では十一月～十二月頃になると、そろそろ干し芋は？と干し芋を楽しみにするお客さまが増えてきました。母から引き継いですぐの頃にはお客さまから「祖父と祖母の紹介で結婚した。とても感謝している」や「局につれてきていた赤ち



野間簡易郵便局外観



やんの頃の私を見たことがある」など色々なことを聞くことができ、野間局が親しまれてきたことを実感することができました。私が受託者となって四年ですが、私も祖母、母がしてきたようにあの時はこうだったとお客さまと話すことができる関係を築くことを目指していきたいです。

住所 〒811-4233 福岡県遠賀郡岡垣町野間二一―四



窓口の様子